



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月2日

上場会社名 新明和工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7224 URL <https://www.shinmaywa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 五十川 龍之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 久米 俊樹 (TEL) 0798-56-5010  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	160,546	3.9	6,003	△15.7	6,724	△14.6	4,507	△16.5
2022年3月期第3四半期	154,578	5.1	7,125	8.0	7,878	15.9	5,398	42.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,637百万円(24.6%) 2022年3月期第3四半期 5,326百万円(15.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	68.42	—
2022年3月期第3四半期	82.05	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	225,643	97,289	42.3
2022年3月期	221,206	94,261	41.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 95,479百万円 2022年3月期 92,465百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	19.00	—	23.00	42.00
2023年3月期	—	21.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	222,000	2.4	8,000	△24.3	8,700	△26.4	5,600	△18.9	84.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	70,000,000株	2022年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	4,087,548株	2022年3月期	4,166,255株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	65,882,033株	2022年3月期3Q	65,798,167株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり持ち直しが期待される一方、資源価格の高騰や、円安の進行等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループは、2030年を志向した長期経営計画[SG-Vision2030]のPhase 1に当たる、中期経営計画[SG-2023]の活動2年目を迎え、企業価値向上に向けた諸施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は188,597百万円(前年同期比1.8%減)、売上高は160,546百万円(同3.9%増)となりました。なお、当第3四半期末の受注残高は242,079百万円(同20.3%増)であります。

損益面は、鋼材価格の上昇等に伴い、営業利益は6,003百万円(同15.7%減)、経常利益は6,724百万円(同14.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,507百万円(同16.5%減)となりました。

当社グループのセグメント別経営成績の概要は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (特装车)

車体等の製造販売は、受注、売上ともに減少いたしました。

また、保守・修理事業は、受注、売上ともに増加いたしました。

このほか、林業用機械等は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は82,016百万円(前年同期比4.6%減)、売上高は66,423百万円(同7.6%減)となり、営業利益は837百万円(同82.1%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は98,466百万円(同32.1%増)であります。

#### (パーキングシステム)

機械式駐車設備は、受注は増加し、売上は前年同期並みの水準となりました。

また、航空旅客搭乗橋は、受注は減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は29,032百万円(前年同期比6.1%増)、売上高は28,463百万円(同3.4%増)となりましたが、営業利益は2,166百万円(同23.2%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は44,802百万円(同5.6%増)であります。

#### (産機・環境システム)

メカトロニクス製品は、真空製品の受注及び売上が増加した結果、分野全体でも受注、売上ともに増加いたしました。

また、環境関連事業は、受注はプラント新設工事及び同施設の複数年にわたる運營業務を一括受託した前期に比べ減少し、売上は増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は32,759百万円(前年同期比1.1%減)、売上高は24,611百万円(同53.5%増)となり、営業利益は2,267百万円(同314.2%増)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は36,279百万円(同8.5%増)であります。

#### (流体)

前期に実施したM&A効果などにより受注及び売上が増加した結果、当セグメントの受注高は20,869百万円(前年同期比20.1%増)、売上高は14,339百万円(同22.8%増)となり、営業利益は1,175百万円(同52.1%増)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は12,861百万円(同35.5%増)であります。

## (航空機)

防衛省向けは、受注、売上ともに減少いたしました。

また、民需関連は、受注、売上ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの受注高は13,962百万円(前年同期比12.1%減)、売上高は16,682百万円(同8.9%増)となり、営業利益は1,285百万円(前年同期は410百万円の損失)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は39,418百万円(前年同期比30.8%増)であります。

## (その他)

建設事業において、受注、売上ともに減少した結果、当セグメントの受注高は9,957百万円(前年同期比19.3%減)、売上高は10,025百万円(同17.2%減)となり、営業利益は488百万円(同25.8%減)となりました。

なお、当第3四半期末の受注残高は10,251百万円(同7.9%減)であります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べて4,436百万円増加し225,643百万円となりました。負債は、法人税等の納付などはあったものの、短期借入金や仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1,408百万円増加し128,353百万円となりました。純資産は、配当金の支払いはあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより前連結会計年度末に比べて3,028百万円増加し97,289百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.8%から42.3%に上昇いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、2022年10月31日に公表いたしました通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

2023年3月期 通期連結業績予想の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	222,000	7,000	8,200	5,600	84.96
今回修正予想 (B)	222,000	8,000	8,700	5,600	84.96
増減額(B-A)	—	1,000	500	—	—
増減率(%)	—	14.3	6.1	—	—
(参考)前期実績 (2022年3月期)	216,823	10,569	11,821	6,907	104.96

※2月以降の前提となる為替レートは、1米ドル=130円としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,600	16,986
受取手形、売掛金及び契約資産	62,114	58,515
電子記録債権	8,831	14,989
商品及び製品	4,067	4,746
仕掛品	21,619	27,014
原材料及び貯蔵品	21,238	25,242
その他	4,266	5,840
貸倒引当金	△121	△133
流動資産合計	148,615	153,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,185	18,769
その他（純額）	23,244	23,548
有形固定資産合計	42,430	42,317
無形固定資産		
	2,876	2,811
投資その他の資産		
その他	27,310	27,329
貸倒引当金	△26	△17
投資その他の資産合計	27,284	27,312
固定資産合計	72,590	72,440
資産合計	221,206	225,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,898	27,737
1年内償還予定の社債	800	800
短期借入金	2,891	12,846
1年内返済予定の長期借入金	2,443	2,202
未払法人税等	2,527	428
工事損失引当金	3,194	3,061
その他	28,147	22,617
流動負債合計	65,903	69,693
固定負債		
社債	1,600	1,000
長期借入金	44,519	42,543
退職給付に係る負債	12,962	13,189
その他	1,959	1,927
固定負債合計	61,041	58,659
負債合計	126,945	128,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,657
利益剰余金	65,852	67,430
自己株式	△5,954	△5,838
株主資本合計	91,617	93,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,096	651
土地再評価差額金	△376	△376
為替換算調整勘定	821	2,087
退職給付に係る調整累計額	△694	△115
その他の包括利益累計額合計	847	2,247
非支配株主持分	1,795	1,810
純資産合計	94,261	97,289
負債純資産合計	221,206	225,643

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	154,578	160,546
売上原価	129,857	135,497
売上総利益	24,720	25,048
販売費及び一般管理費	17,594	19,044
営業利益	7,125	6,003
営業外収益		
受取利息	43	54
受取配当金	164	172
持分法による投資利益	123	201
保険配当金	166	165
為替差益	357	508
その他	234	131
営業外収益合計	1,090	1,234
営業外費用		
支払利息	150	174
休止固定資産費用	91	91
借入手数料	9	8
債権流動化費用	7	49
その他	78	191
営業外費用合計	337	514
経常利益	7,878	6,724
特別利益		
投資有価証券売却益	-	282
負ののれん発生益	486	-
特別利益合計	486	282
特別損失		
固定資産処分損	150	84
特別損失合計	150	84
税金等調整前四半期純利益	8,214	6,922
法人税、住民税及び事業税	1,486	1,289
法人税等調整額	1,149	533
法人税等合計	2,635	1,823
四半期純利益	5,579	5,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	180	591
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,398	4,507



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,579	5,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△443	△445
為替換算調整勘定	△83	1,107
退職給付に係る調整額	109	579
持分法適用会社に対する持分相当額	164	296
その他の包括利益合計	△252	1,538
四半期包括利益	5,326	6,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,172	5,907
非支配株主に係る四半期包括利益	154	729

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装車	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	69,071	26,181	7,394	9,573	8,977	121,198	12,108	133,306	—	133,306
アジア	974	1,356	6,084	1,279	—	9,694	—	9,694	—	9,694
北米	0	—	1,497	543	5,935	7,976	—	7,976	—	7,976
その他	1,858	—	1,052	284	406	3,600	—	3,600	—	3,600
顧客との契約 から生じる収益	71,904	27,537	16,028	11,679	15,319	142,470	12,108	154,578	—	154,578
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	71,904	27,537	16,028	11,679	15,319	142,470	12,108	154,578	—	154,578
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	27	2	6	—	48	1,441	1,489	△1,489	—
計	71,916	27,565	16,030	11,685	15,319	142,518	13,549	156,067	△1,489	154,578
セグメント利益 又は損失(△)	4,685	2,819	547	772	△410	8,413	658	9,072	△1,946	7,125

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,946百万円には、セグメント間取引消去57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,003百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「流体」セグメントにおいて、TurboMAX Co., Ltd.、他1社の株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、269百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「航空機」セグメントにおいて、天龍エアロコンポーネント株式会社の株式を取得し、連結子会社としております。当該事象による負ののれん発生益は、当第3四半期連結累計期間において、294百万円であります。さらに、「特装車」セグメントにおいて、株式会社OSK、株式会社WAKOの株式を取得し、連結子会社としております。当該事象による負ののれん発生益は、当第3四半期連結累計期間において、192百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	特装车	パーキング システム	産機・環境 システム	流体	航空機	計				
売上高										
日本	62,166	25,989	8,323	10,251	8,288	115,019	10,025	125,045	—	125,045
アジア	1,572	2,474	10,611	2,801	—	17,458	—	17,458	—	17,458
北米	3	—	1,294	779	7,491	9,569	—	9,569	—	9,569
その他	2,680	—	4,382	507	901	8,472	—	8,472	—	8,472
顧客との契約 から生じる収益	66,423	28,463	24,611	14,339	16,682	150,520	10,025	160,546	—	160,546
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	66,423	28,463	24,611	14,339	16,682	150,520	10,025	160,546	—	160,546
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	19	7	1	6	—	34	1,619	1,653	△1,653	—
計	66,442	28,471	24,613	14,345	16,682	150,554	11,645	162,199	△1,653	160,546
セグメント利益	837	2,166	2,267	1,175	1,285	7,730	488	8,219	△2,215	6,003

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,215百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,221百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的試験研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
(セグメント変更)

経営上の意思決定を行う区分を基礎とするマネジメント・アプローチをさらに徹底するため、第1四半期連結会計期間より、事業部を軸としたセグメント区分に変更しております。これに伴い、「産機・環境システム」に含まれていた「流体」を報告セグメントとして記載し、従来の「特装车」「パーキングシステム」「産機・環境システム」「航空機」の4区分から「特装车」「パーキングシステム」「産機・環境システム」「流体」「航空機」の5区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。